

報 道 資 料

年月日 平成23年12月2日（金）
担当課 学校教育課
担当者 義務教育係長 松本 哲志
TEL 0742-27-9854

（タイトル）

夏休み！ノーテレビ・ノーゲームデーチャレンジ大作戦 アンケート調査の結果について

（要 旨）

1 夏休み！ノーテレビ・ノーゲームデーチャレンジ大作戦について

夏休み期間中に1週間ごとに2日間（合計12日間）、家庭においてノーテレビ・ノーゲームデーに取り組むことを通して、子どもたちに規則正しい生活のリズムや基本的な生活習慣などを身に付けさせるとともに家庭での会話の促進を図ることを目指し、県内小学3年生を対象に実施しました。児童は、チャレンジカードをもとに、チャレンジする日を1週間ごとに2日間設定し、テレビを見ない（ゲームをしない）で「頑張ること」を決めてノーテレビ・ノーゲームデーにチャレンジしました。
※県内小学校211校（県内全小学校の98.6%）、特別支援学校2校で実施

2 アンケート調査について

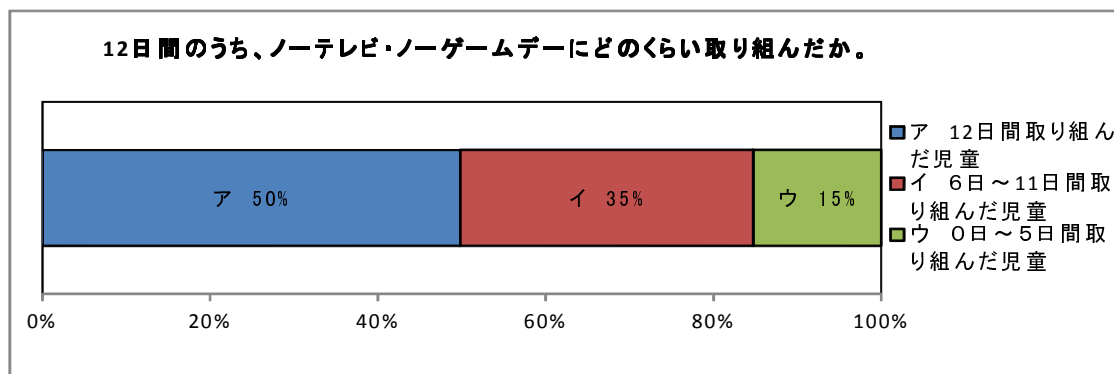
実施校ごとに小学3年生児童・保護者の10%程度を抽出し、児童には、取り組んだ日数、取組の状況などについて、保護者には、テレビを見る（ゲームをする）時間の変化、生活の変化などについてアンケート調査を実施しました。

アンケート回答数	1337（実施校小学3年生の10.6%）
アンケート実施期間	平成23年9月1日～平成23年9月9日

3 アンケート調査結果の分析について

(1) アンケートに回答した児童の状況

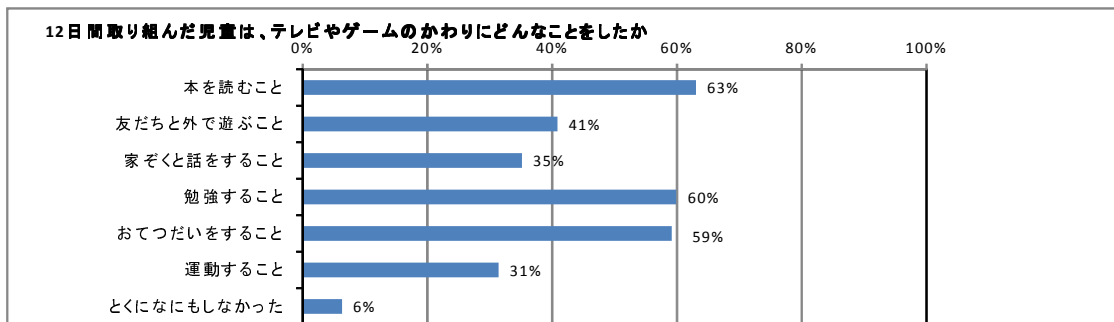
50パーセントの児童が週2日のノーテレビ・ノーゲームデーに取り組んだ。
（※85パーセントの児童が週1回以上取り組んだ。）



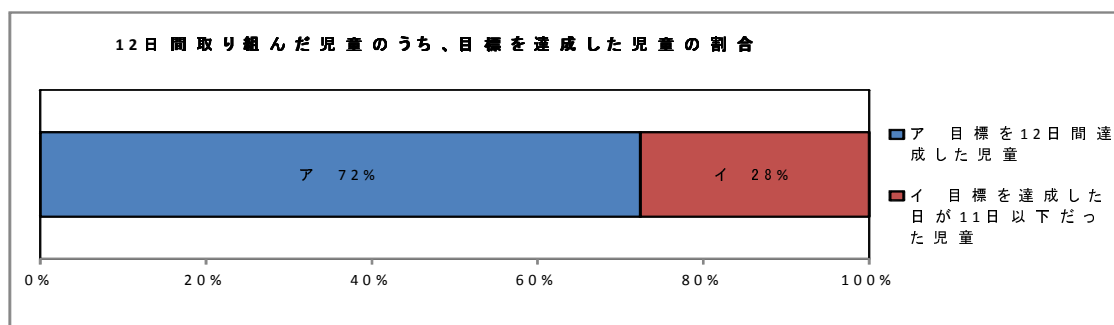
(2) 週2日取り組んだ児童の状況

取り組んだ目標は、①読書、②勉強、③お手伝い、④友達との外遊び、⑤家族との会話の順に多く、①～③には60パーセント程度の児童が取り組んだ。

(複数回答)



72パーセントの児童が自分の決めた目標（頑張ること）を達成できた。



(3) 週2日取り組んだ児童の保護者の回答

取組により児童の生活に見られた変化についての回答は、
 ①お手伝いをしてあげることが増えた。
 ②自分で時間を決めて、テレビを見たり、ゲームをしたりするようになった。
 ③家族と話をするが増えた。
 の順に多い。

(複数回答)

